



dwango

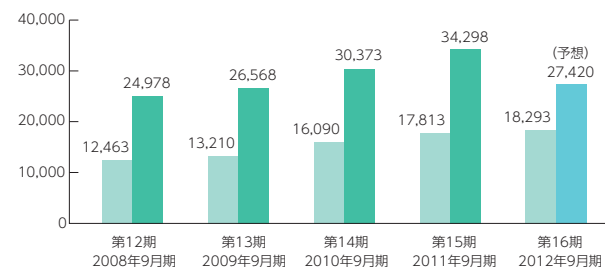
第16期 中間報告書 2011.10.1~2012.3.31

dwango

財務ハイライト

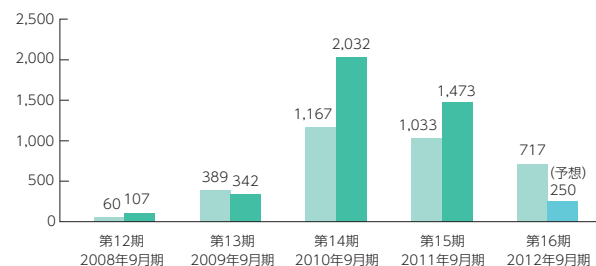
▶ 連結売上高

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 第3四半期累計(予想)



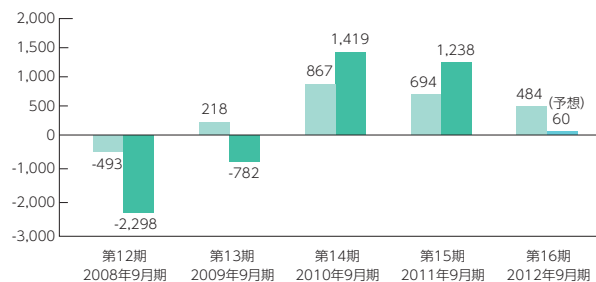
▶ 連結経常利益

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 第3四半期累計(予想)



▶ 連結四半期(当期)純利益

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 第3四半期累計(予想)



ネットに生まれて、ネットにつながる。

代表取締役社長 小林 宏

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第16期第2四半期累計期間(2011年10月1日から2012年3月31日)における業績の概況についてご報告いたします。

各事業の概況ですが、ポータル事業においては、「ニコニコ生放送」で映画配信サービスを開始するなどコンテンツを拡充しました。また、新バージョン「ニコニコ動画:Zero」のサービス開始に向けて随時、新機能や新サービスを投入してきました。

これらの取り組みにより、平成24年3月末には登録会員数2,648万人、「ニコニコプレミアム会員」は159万人となりました。

モバイル事業においては、アンドロイドスマートフォン向けに、高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」をdocomo、KDDI、SoftBankの国内主要3キャリアに展開しました。従来の携帯電話端末向けには、主力となる音楽系サイトの着うた®や着うたフル®を中心にユーザ満足度向上に努めました。

ゲーム事業においては、新型携帯型ゲーム機向けに、パッケージゲームを発売した他、海外人気タイトルの国内提供やソーシャルゲームを他社プラットフォームに提供しました。

ライブ事業においては、「カンタレラ2012～裏切りの毒薬～」などのニコニコミュージカルを開催した他、ライブハウス「ニコファーレ」では各種イベントを開催しました。

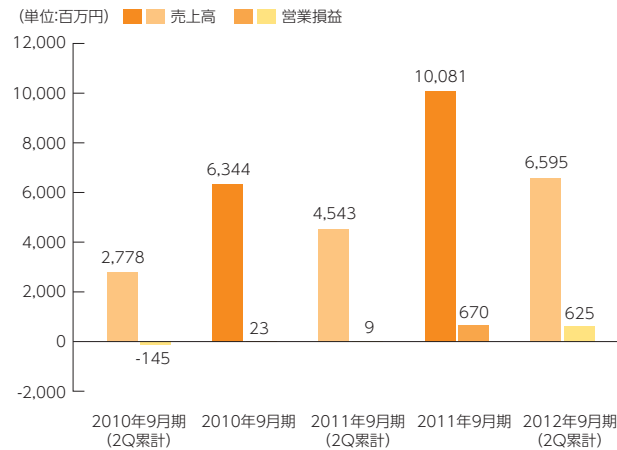
以上の結果、当第2四半期連結累計期間業績は、売上高182億93百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益8億27百万円(前年同期比27.1%減)、経常利益7億17百万円(前年同期比30.6%減)、四半期純利益は4億84百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

今後も当社グループでは、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話、スマートフォン、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえ、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

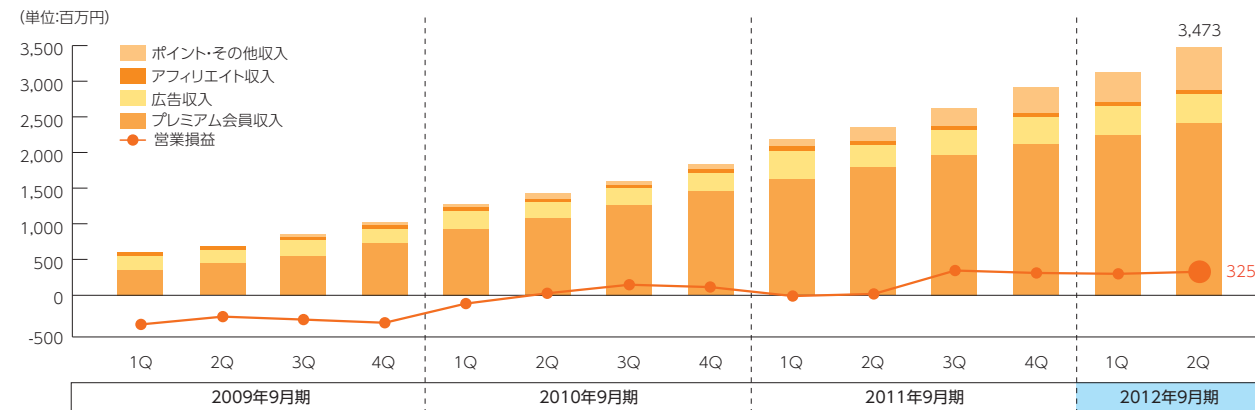
ポータル事業

▶ 売上高及び営業損益



▶ 『ニコニコ動画』の業績推移

売上高及び営業損益推移



動画コミュニティサービス「ニコニコ動画」は、プレミアム会員数が順調に増加し、売上を伸ばしています。サービス面では、「ニコニコ生放送」で映画配信サービスを開始するなどコンテンツの拡充を図りました。また、電子書籍サービスとしてコメント投稿機能などが付いた「ニコニコ静画(電子書籍)」を開始しました。

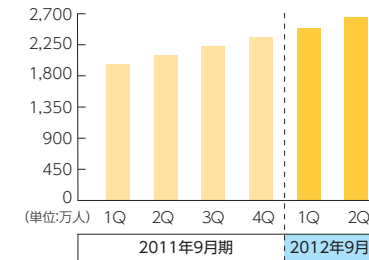
スマートフォンにも適宜対応し、スマートフォン端末からのプレミアム会員費やポイント購入の決済ができるようになりました。

以上の結果、売上高は65億95百万円(前年同期比45.2%増)、セグメント利益(営業利益)は6億25百万円(前年同期は9百万円のセグメント利益)となりました。

▶ 『ニコニコ動画』の会員数推移

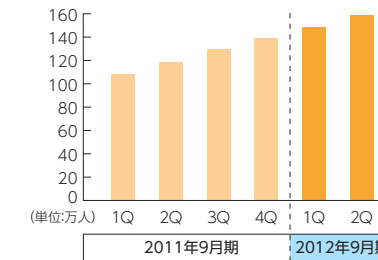
登録会員数

2,648万人



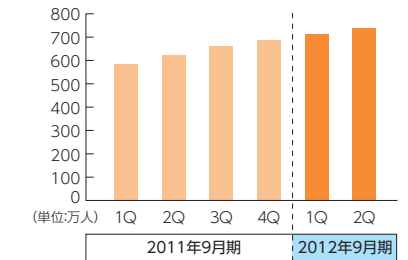
プレミアム会員数*

159万人



モバイル会員数*

737万人



*プレミアム会員=有料会員・・・月額525円またはチケット課金90日1,680円にて、専用回線での快適な視聴や生放送の優先視聴他、様々な特典を受けられる。

新バージョン

ニコニコ動画:Zero、ニコニコ生放送:Zeroがスタート

2006年12月12日よりサービスを開始したニコニコ動画は、2011年12月12日(月)をもって5周年を迎えました。「ニコニコ動画(仮)」としてサービスを開始して以降、「(β)」、「(γ)」、「(RC)」、「(RC2)」、「(SP1)」、「(夏)」、「(秋)」、「(冬)」、「(ββ)」、「(9)」、「(原宿)」とバージョンアップを重ねてきましたが、このたび5周年を契機とし、原点回帰の意味を込めた「ニコニコ動画:Zero」「ニコニコ生放送:Zero」にバージョンアップしました。



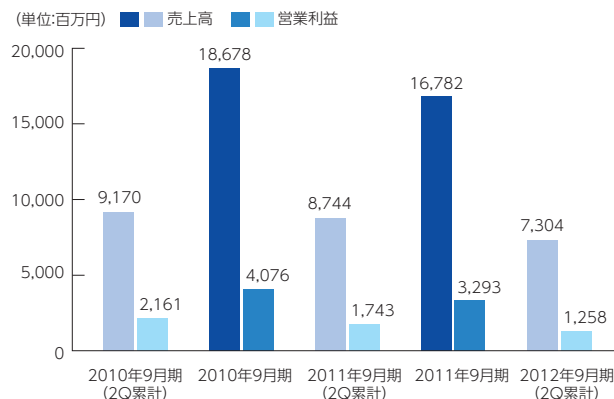
ニコニコ超会議を開催

2012年4月28、29日に幕張メッセで「ニコニコ動画をほぼ全て地上で再現する」をコンセプトに、ニコニコ動画のあらゆるジャンルを網羅したユーザ主体の超巨大フェスイベント「ニコニコ超会議」を開催しました。会場規模・演出項目・出演者数は、いずれもニコニコ動画史上最大規模となり、二日間で延べ9万2千人の方が来場しネット来場者は(会場からの公式生放送を視聴した人数)347万人となりました。



モバイル事業

▶ 売上高及び営業利益

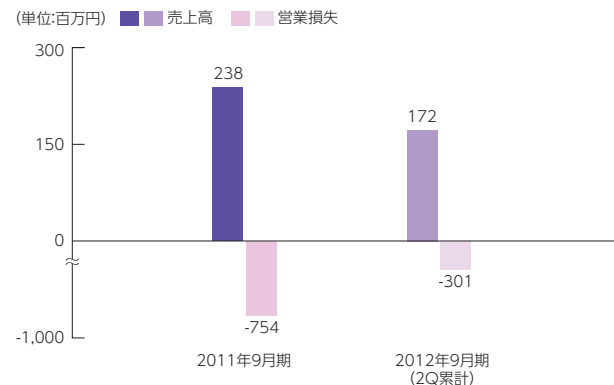


アンドロイドスマートフォン向けに、高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」をdocomo、KDDI、SoftBankの国内主要3キャリアに展開し、着うた[®]、着ボイス[®]配信サービスや「アニメロミックス」「K-POP Life」を開始するなど、サービスを拡大しました。

従来の携帯電話端末向けには、主力となる音楽系サイトにおいて、人気アーティストの楽曲配信権利獲得や、当社グループの強みを活かしたニコニコ動画系オリジナルコンテンツなどを拡充し、ユーザ満足度向上に努めました。以上の結果、売上高は73億4百万円(前年同期比16.5%減)、セグメント利益(営業利益)は12億58百万円(前年同期比27.8%減)となりました。

ライブ事業

▶ 売上高及び営業損失

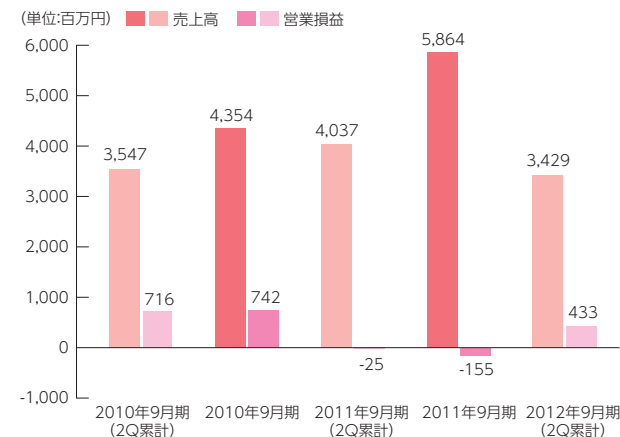


ライブ事業においては、「源氏物語」や「カンタレラ2012～裏切りの毒薬～」などのニコニコミュージカルを開催した他、ライブハウス「ニコファーレ」では、ニコニコ動画系のイベントやコンサートだけではなくゲーム系イベントや、寄席、討論、ファッションショー、映画試写会など様々なイベントを開催しました。また、各種イベント向けにホールの貸出なども行いました。

以上の結果、売上高は1億72百万円、セグメント損失(営業損失)は3億1百万円となりました。

ゲーム事業

▶ 売上高及び営業損失

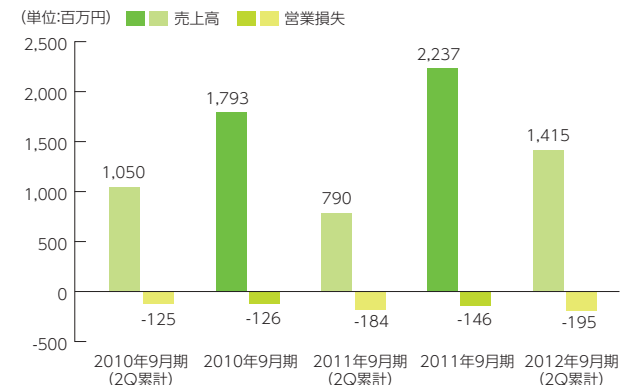


国内家庭用ゲーム市場は、新たに次世代携帯型ゲーム機が発売されたものの、依然として厳しい状況が続いています。一方、ソーシャルモバイルゲーム市場は拡大しています。

その中で、国内タイトルでは「真かまいたちの夜 11人目の訪問者」「忍道2」「善人シボウデス」を発売しました。また、海外タイトルの国内展開では「DEAD ISLAND」「Dragon Age II」を発売しました。スマートフォンや携帯電話端末向けには、「風来のシレン みんなで不思議のダンジョン」を他社プラットフォームに提供しました。以上の結果、売上高は34億29百万円(前年同期比15.1%減)、セグメント利益(営業利益)は4億33百万円(前年同期は25百万円の損失)となりました。

その他の事業

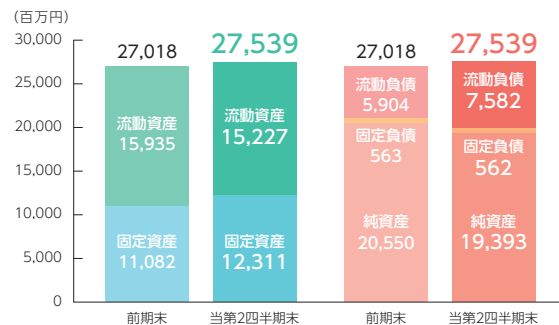
▶ 売上高及び営業損失



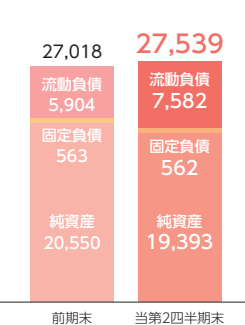
その他の事業においては、主にアニメ分野やニコニコ動画から生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入が売上に貢献しました。

以上の結果、売上高は14億15百万円、セグメント損失(営業損失)は1億95百万円となりました。

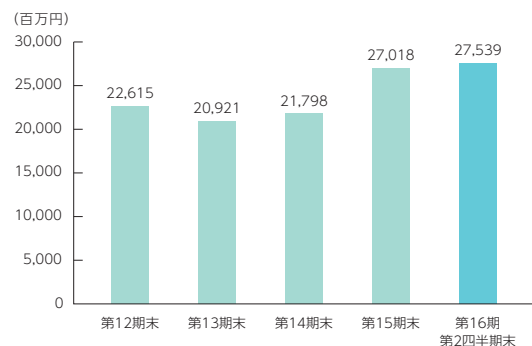
資産の部



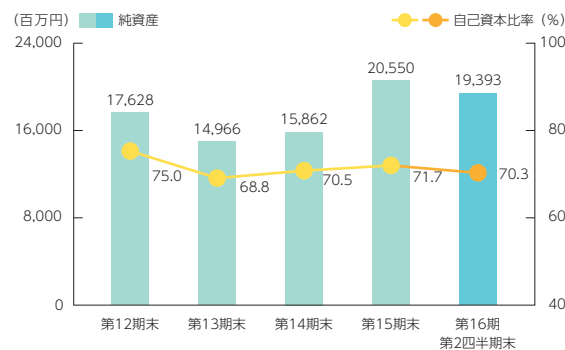
負債純資産の部



総資産



純資産・自己資本比率



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 2012年3月31日現在	前期 2011年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	15,227	15,935
固定資産	12,311	11,082
有形固定資産	3,112	2,695
無形固定資産	3,081	2,338
投資その他の資産	6,117	6,049
資産合計	27,539	27,018
(負債の部)		
流動負債	7,582	5,904
固定負債	562	563
負債合計	8,145	6,467
(純資産の部)		
株主資本	19,205	19,251
資本金	10,616	10,616
資本剰余金	9,497	10,022
利益剰余金	△ 902	△ 1,387
自己株式	△ 5	—
その他の包括利益累計額	151	131
少数株主持分	37	1,167
純資産合計	19,393	20,550
負債純資産合計	27,539	27,018

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

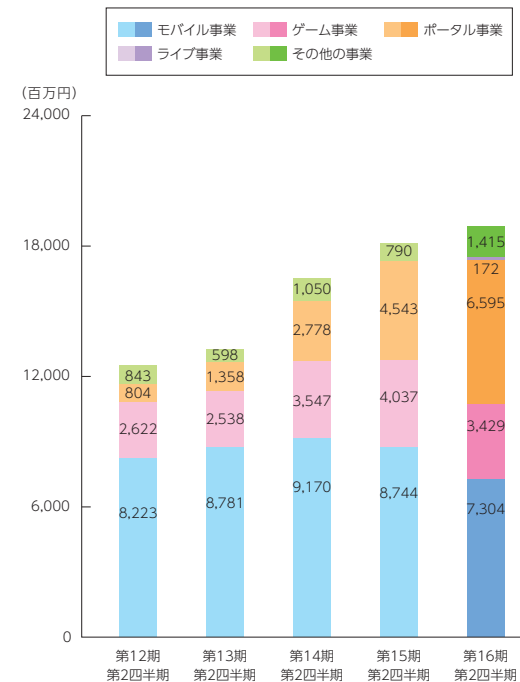
科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年10月1日 至 2012年 3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年10月1日 至 2011年 3月31日)
売上高	18,293	17,813
売上原価	11,060	10,640
売上総利益	7,232	7,173
販売費及び一般管理費	6,405	6,038
営業利益	827	1,135
営業外収益	36	14
営業外費用	147	116
経常利益	717	1,033
特別利益	134	194
特別損失	60	152
税金等調整前四半期純利益	791	1,076
法人税、住民税及び事業税	163	394
法人税等還付税額	—	△ 20
法人税等調整額	48	△ 0
少数株主損益調整前四半期純利益	579	702
少数株主利益	94	8
四半期純利益	484	694

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年10月1日 至 2012年 3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年10月1日 至 2011年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,636	1,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,851	△ 1,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 835	△ 380
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,049	△ 478
現金及び現金同等物の期首残高	6,997	7,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,948	6,881

事業別売上高推移



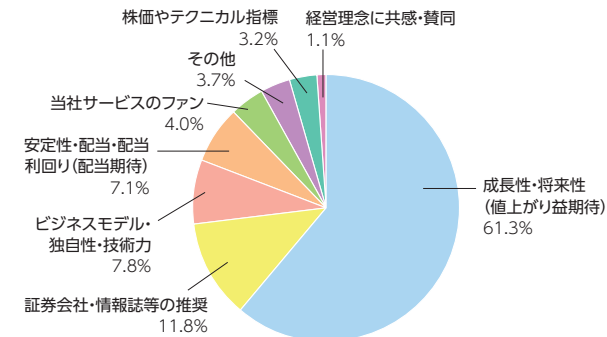
「株主様アンケート」集計結果のご報告

当社からの送付数:11,101名様 株主様からのご返送数:624名様

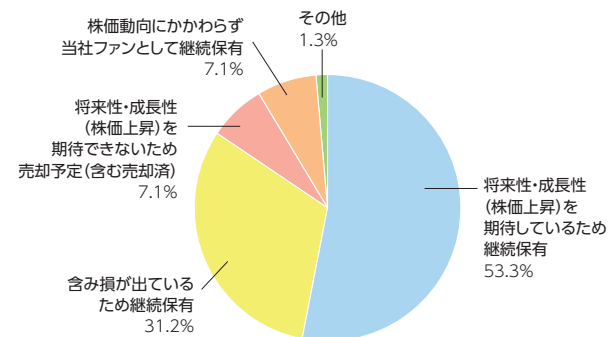
第15期定時株主総会決議ご通知に同封の「株主様アンケート」につきましては、数多くの株主様からご返信をいただき、誠にありがとうございました。簡単ではありますが、集計結果をご報告申し上げます。

当社株式の保有期間	6ヶ月未満		6ヶ月～1年未満		1～3年未満	
	10.7%	18.3%	18.7%	25.2%	4.0%	
	3～5年未満 23.1%		5年以上 18.7%		上場時から 4.0%	

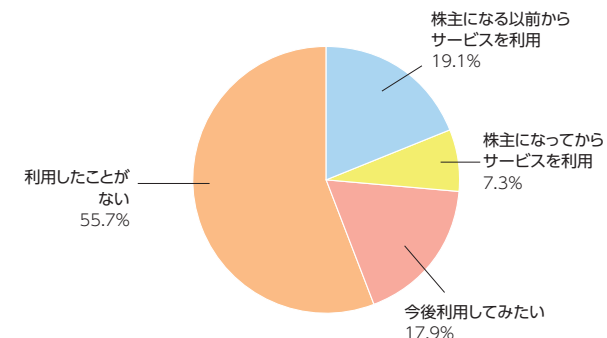
Q1.当社株式を購入された理由をお聞かせください。(1つだけ回答)



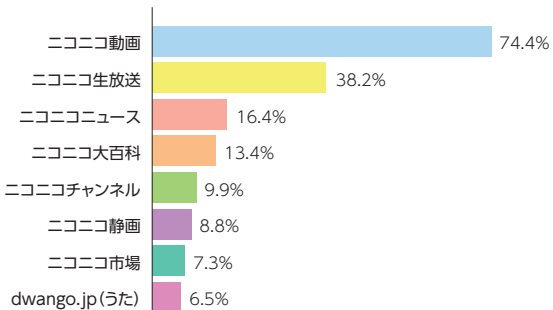
Q2.当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つだけ回答)



Q3.当社の提供しているサービスのご利用状況についてお聞かせください。



Q4.Q3で当社のサービスを利用もしくは今後利用してみたいとお答えした方に伺います。どのサービスを利用しておりますか。(複数回答可、上位8項目)



●「株主様アンケート」の結果をふまえ、今後のIR活動の向上に努めてまいります。

当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

<http://info.dwango.co.jp/>



メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。パソコンのEメールアドレスをお持ちであれば、どなたでもご登録いただけます。

トップページ右側「IRニュース」欄内

「IRニュース配信」からご登録

アンケートにご協力ください

ホームページでは随時アンケートを実施しております。この機会に是非、お声をお聞かせください。

ホームページ「IR情報」サイト

左側のメニューバー最下段「個人投資家のみなさまへ」

「アンケートにご協力ください」からご回答いただけます。



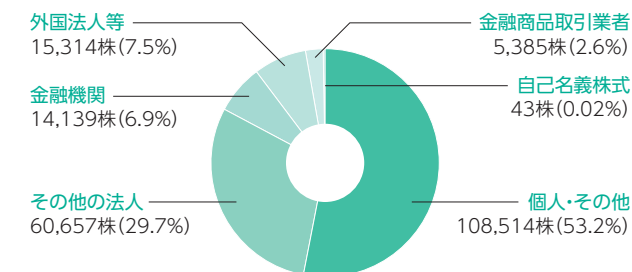
株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	528,000株
発行済株式総数	204,052株
株主数	12,280名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.04
川上 量生	34,395	16.85
株式会社角川グループホールディングス	16,800	8.23
横澤 大輔	6,522	3.19
森 栄樹	5,100	2.49
太田 豊紀	4,750	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,245	2.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,033	1.48
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,238	1.09
原 知行	2,096	1.02

所有者別株式数比率



第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月
期末配当基準日	9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://info.dwango.co.jp/ir/ ※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478
E-mail:ir@dwango.co.jp URL: <http://info.dwango.co.jp/>

会社概要 (2012年3月31日現在)

設立年月日	1997年8月6日
資本金	106億1,630万円
従業員数	単体 565名 連結 1,065名
事業内容	次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役員	代表取締役会長	川上 量生
	代表取締役社長	小林 宏
	取締役 役	夏野 剛
	取締役 役	原 知行
	取締役 役	横澤 大輔
	取締役 役	麻生 巖
	取締役 役	佐藤 辰男
	取締役 役	千葉 龍平
	監査役(常勤)	小池 哲
	監査 役	鈴木 祐一
	監査 役	永野 明
	監査 役	藤田 隆

子会社	株式会社ドワンゴモバイル
	株式会社CELL
	株式会社ドワンゴ・ミュージックエンタテインメント
	多玩國股份有限公司(台湾 台北市)
	株式会社ニワンゴ
	株式会社スカイスクレイパー
	株式会社モバイルコンテンツ
	株式会社ゲームズアリーナ
	株式会社チュンソフト
	株式会社スパイク
	株式会社ティーアンドイーソフト

関連会社 株式会社MAGES.